



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月5日

上場会社名 ハビックス株式会社
 コード番号 3895 URL <https://www.havix.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 伊神 清隆

TEL 058-296-3911

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	5,180	1.3	58		43		37	79.5
2021年3月期第2四半期	5,249	20.8	287	39.4	269	47.8	183	48.3

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 26百万円 (%) 2021年3月期第2四半期 218百万円 (36.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	4.77	
2021年3月期第2四半期	23.40	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	14,752	8,717	59.1
2021年3月期	14,482	8,851	61.1

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 8,717百万円 2021年3月期 8,851百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		16.00	16.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年3月期配当金の内訳 普通配当16円00銭

2022年3月期(予想)配当金の内訳 普通配当12円00銭

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	8.0	20	97.4	40	95.1	70	87.5	8.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 詳細につきましては、本日(2021年11月5日)公表の「2022年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	8,175,280 株	2021年3月期	8,175,280 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	276,897 株	2021年3月期	311,029 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	7,877,680 株	2021年3月期2Q	7,846,281 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、一部地域において緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が断続的に実施されるなど、予断を許さない状況が続きました。国内におけるワクチン接種率が高まる中、経済活動再開への動きが見られるものの未だ不確実性は高く、景気の先行きは不透明な市場環境であります。

当社グループが製品を提供する外食産業市場につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う政府や行政の各種要請、不要不急の外出自粛など経済活動の抑制等により、依然として非常に厳しい状況に陥っております。同様に衛生材料市場におきましては、国内では景気低迷による買い控えやコロナ禍における急激な出生率の低下、また中国における日本製の紙おむつの需要減少等により、販売数量が落ち込みました。

一方、主要原材料であるパルプの価格は、中国における紙製品の需要増加、コンテナ不足等に起因する物流の停滞および物流コストの高騰等に伴い、かつてない高値で推移したことにより収益を大きく圧迫しました。さらに第2四半期に入り、燃料費や化学系の資材の価格も急激に上昇しました。

このような環境の下、当社グループは全社員が新型コロナウイルスの感染防止に注力しつつ、営業活動を継続的に展開するとともに、原材料等の高騰に見合った販売価格の修正、全拠点における品質改善・生産性向上・コスト削減等の抜本的改革を推進し、収益性を高めるべく企業体質の強化を図ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大等による販売数量の伸び悩みと原燃料価格の高騰の影響は当初の想定を大きく超えており、業績への効果は限定的となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,180百万円(前年同期比1.3%減)、営業損失は58百万円(前年同期は営業利益287百万円)、経常損失は43百万円(前年同期は経常利益269百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は37百万円(前年同期比79.5%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

a. 不織布関連事業

パルプ不織布は、新型コロナウイルスの感染拡大により外食産業の市場が低迷する中、主力製品である業務用ッキングペーパーやおしぼり向け製品の受注の獲得に注力しました。また化繊不織布におきましても、既存および新規販売先への拡販活動を積極的に展開しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,740百万円(前年同期比1.1%増)、セグメント利益は418百万円(同1.8%増)となりました。

b. 紙関連事業

衛生用紙は、衛生材料市場における紙おむつ、ペットシート、トイレクリーナー向け製品を中心に拡販活動を積極的に展開しましたが、コロナ禍により国内の子供用紙おむつ市場が停滞し、輸出用の紙おむつ向け製品の販売数量も低迷したこと、さらには外食産業市場向け製品の受注も伸び悩んだことから、売上高は減少しました。また、主要原材料であるパルプ価格が短期間で高騰し、これに見合った販売価格の修正を推し進めましたが、製造コストの上昇分を十分に補うまでには至らず、利益は大きく減少することとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,440百万円(前年同期比3.9%減)、セグメント損失は24百万円(前年同期はセグメント利益307百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

a. 資産

総資産は、前連結会計年度末と比べ270百万円増加して14,752百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品が530百万円、商品及び製品が46百万円増加したこと、有形固定資産が195百万円、受取手形及び売掛金が100百万円減少したことによるものであります。

b. 負債

負債は、前連結会計年度末と比べ404百万円増加して6,035百万円となりました。これは主に、電子記録債務が503百万円、支払手形及び買掛金が479百万円増加したこと、長期借入金が248百万円、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が209百万円、未払法人税等が80百万円、役員賞与引当金が30百万円減少したことによるものであります。

c. 純資産

純資産は、前連結会計年度末と比べ134百万円減少して8,717百万円となりました。これは主に、利益剰余金が88百万円、その他有価証券評価差額金が64百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は59.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より9百万円増加して1,326百万円となりました。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により獲得した資金は382百万円（前年同期比326百万円減）となりました。これは、仕入債務の増加983百万円、減価償却費293百万円等による資金の増加と、棚卸資産の増加579百万円、未払消費税等の減少209百万円、投資有価証券売却益100百万円等による資金の減少によるものであります。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により獲得した資金は24百万円（前年同期は928百万円の支出）となりました。これは、投資有価証券の売却による収入106百万円等による資金の増加と、有形固定資産の取得による支出81百万円等による資金の減少によるものであります。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は396百万円（前年同期比111百万円減）となりました。これは、長期借入金の返済による支出261百万円、配当金の支払額125百万円等による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月11日公表の「2021年3月期 決算短信[日本基準](連結)」から修正しております。詳細につきましては、本日公表しました「2022年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,152,566	3,162,521
受取手形及び売掛金	2,075,747	1,975,199
電子記録債権	1,653,623	1,687,014
商品及び製品	386,738	432,990
仕掛品	9,129	11,884
原材料及び貯蔵品	468,530	999,487
その他	97,414	144,632
貸倒引当金	△66	△66
流動資産合計	7,843,683	8,413,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,171,388	5,177,163
減価償却累計額	△2,486,435	△2,565,312
建物及び構築物（純額）	2,684,953	2,611,850
機械装置及び運搬具	9,205,325	9,232,141
減価償却累計額	△7,036,521	△7,194,829
機械装置及び運搬具（純額）	2,168,803	2,037,311
土地	1,247,382	1,247,382
建設仮勘定	7,389	12,460
その他	516,356	537,570
減価償却累計額	△402,733	△420,303
その他（純額）	113,622	117,266
有形固定資産合計	6,222,152	6,026,272
無形固定資産	67,091	44,436
投資その他の資産		
その他	394,352	313,129
貸倒引当金	△44,861	△44,861
投資その他の資産合計	349,490	268,267
固定資産合計	6,638,734	6,338,976
資産合計	14,482,417	14,752,639

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	976,454	1,455,518
電子記録債務	645,054	1,149,025
1年内返済予定の長期借入金	510,456	497,160
未払法人税等	101,605	20,668
賞与引当金	141,354	146,094
役員賞与引当金	30,000	-
その他	571,969	369,693
流動負債合計	2,976,894	3,638,160
固定負債		
長期借入金	2,435,970	2,187,390
退職給付に係る負債	170,220	156,883
その他	48,047	53,008
固定負債合計	2,654,238	2,397,282
負債合計	5,631,132	6,035,442
純資産の部		
株主資本		
資本金	593,660	593,660
資本剰余金	630,532	642,606
利益剰余金	7,576,346	7,488,125
自己株式	△58,551	△52,126
株主資本合計	8,741,986	8,672,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95,882	31,516
為替換算調整勘定	13,415	13,415
その他の包括利益累計額合計	109,297	44,932
純資産合計	8,851,284	8,717,197
負債純資産合計	14,482,417	14,752,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	5,249,623	5,180,683
売上原価	4,149,750	4,418,549
売上総利益	1,099,872	762,133
販売費及び一般管理費	812,751	820,166
営業利益又は営業損失(△)	287,121	△58,033
営業外収益		
受取利息	93	69
受取配当金	2,610	3,413
為替差益	1,688	14,022
試作品売却収入	2,082	1,884
受取保険金	1,042	-
故紙売却収入	2,286	2,439
補助金収入	5,793	9,804
その他	3,155	2,965
営業外収益合計	18,752	34,599
営業外費用		
支払利息	13,572	11,487
デリバティブ評価損	22,042	8,067
その他	452	256
営業外費用合計	36,067	19,812
経常利益又は経常損失(△)	269,805	△43,246
特別利益		
投資有価証券売却益	-	100,037
特別利益合計	-	100,037
税金等調整前四半期純利益	269,805	56,791
法人税、住民税及び事業税	65,443	9,599
法人税等調整額	20,742	9,584
法人税等合計	86,186	19,184
四半期純利益	183,619	37,606
親会社株主に帰属する四半期純利益	183,619	37,606

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	183,619	37,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,677	△64,365
為替換算調整勘定	4,244	0
その他の包括利益合計	34,921	△64,365
四半期包括利益	218,541	△26,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	218,541	△26,758
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	269,805	56,791
減価償却費	300,282	293,113
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,376	4,740
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△26,000	△30,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,077	△13,336
受取利息及び受取配当金	△2,703	△3,483
支払利息	13,572	11,487
投資有価証券売却損益(△は益)	△342	△100,037
補助金収入	△5,793	△9,804
売上債権の増減額(△は増加)	744,284	67,156
棚卸資産の増減額(△は増加)	△418,007	△579,963
仕入債務の増減額(△は減少)	△103,439	983,034
未収消費税等の増減額(△は増加)	87,799	△46,237
未払消費税等の増減額(△は減少)	60,198	△209,036
その他	△20,029	44,905
小計	898,325	469,329
利息及び配当金の受取額	2,716	3,552
利息の支払額	△13,431	△11,073
補助金の受取額	5,862	9,870
法人税等の支払額	△184,355	△89,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	709,118	382,126
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,103,682	△1,103,775
定期預金の払戻による収入	603,631	1,103,682
有形固定資産の取得による支出	△437,856	△81,659
有形固定資産の売却による収入	800	748
無形固定資産の取得による支出	△1,050	△3,640
投資有価証券の取得による支出	△10,000	-
投資有価証券の売却による収入	9,425	106,030
投資有価証券の償還による収入	10,020	-
会員権の売却による収入	-	2,727
その他	636	△47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△928,075	24,065
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△361,441	△261,876
配当金の支払額	△141,067	△125,717
その他	△5,312	△8,736
財務活動によるキャッシュ・フロー	△507,820	△396,329
現金及び現金同等物に係る換算差額	△154	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△726,932	9,861
現金及び現金同等物の期首残高	2,112,538	1,316,636
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,385,605	1,326,497

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、有償支給取引について、従来は、有償支給した支給品について消滅を認識しておりましたが、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品の消滅を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益および利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微であります。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、その収束時期等を予想することは困難であることから、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについては、年度末にかけて緩やかに回復すると仮定を置き行っております。

上記の仮定は、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不織布関連事業	紙関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,709,448	2,540,175	5,249,623	—	5,249,623
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,709,448	2,540,175	5,249,623	—	5,249,623
セグメント利益	411,504	307,835	719,340	△432,218	287,121

(注) 1. セグメント利益の調整額△432,218千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不織布関連事業	紙関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,740,254	2,440,428	5,180,683	—	5,180,683
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,740,254	2,440,428	5,180,683	—	5,180,683
セグメント利益又は損失(△)	418,757	△24,142	394,614	△452,647	△58,033

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△452,647千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。